

# 平成28年度組織目標評価(組織名:モノづくり振興課)

番号	目標項目	目標値等(目標の内容)	達成状況(成果と課題)	達成度	今後の対応(△・×の項目)
1 これからの産業を担う人材力の強化					
1	[経営基盤の強化に対する支援] 中小企業の新技術開発の促進	技術開発支援の前提となるチャレンジ計画の認定 8件	チャレンジ計画の認定:10件  本年度2回の募集を行い10件の認定を行った。またチャレンジ計画に基づく支援策であるプロジェクト補助金について10件の採択を行った。	◎	
2	[経営基盤の強化に対する支援] びわ湖環境ビジネスメッセの魅力強化	会期中における商談件数 29,000件	会期中における商談件数 27,511件  主催者展示コーナー等により魅力強化に努めたが、出展者の減少等を背景に会期中の商談件数は目標に到達しなかった。	△	平成29年度は20回記念大会となることから、例年以上に活発な商談・取引の場となるよう、広報の強化や各種記念企画を実施により出展者および来場者の拡大を図る。
3	[創業および新事業創出の促進] 滋賀発成長産業の発掘・育成	ハンズオン支援(※)による事業化プランの育成件数 5件 ※ハンズオン支援:企業の情報や経営に深く関与しながら行う支援のこと	事業化プランの育成件数:9件  県内大学・企業等のシーズ発掘を行った結果、当事業へ22件のエントリーがあり、ハンズオン支援の結果、9件を最終選考会進出まで育成することができた。	◎	
4	[新たな価値や力を生み出す連携の推進] 健康創生産業の育成 (健康医療福祉部との連携事業)	①医療・健康・福祉分野における競争的研究開発資金への応募件数 1件  ②新たな健康支援サービスの創出件数 1件	①研究開発資金応募:1件 ②健康支援サービス創出:1件  ①AMED「医工連携事業化推進事業」へ応募 ②「健康のび体操」の効果検証実験を実施	○	
5	[地域資源の活用の促進] 地場産業等地域産業の振興	①関係組合の参画による推進母体の設置  ②地域特産品の統一シンボルマークの策定	①県、滋賀県中小企業団体中央会、地場産業組合、地域特産品組合、マスコミ等で構成する地域産業ブランド発信推進会議を設置。 ②“滋賀の名品”のロゴマークの策定と併せ、ショッピングサイトを開設。	◎	
6	[新たな価値や力を生み出す連携の推進] 産学官連携コーディネートの実施	産学官連携等共同研究体の形成数 6件	産学官連携等共同体の形成:8件  (公財)滋賀県産業支援プラザに産学官連携コーディネータを設置し、プロジェクト構築と外資獲得に向けた申請の補助を実施した。	◎	